

令和5年度 定時総会

議 案 書

日 時 令和5年6月15日(木) 午後1時30分

場 所 アクシスかつらぎ 多目的ホール

公益社団法人 伊豆の国市シルバー人材センター

電 話 055-948-9526

FAX 055-948-9682

令和5年度 定時総会次第

- 1 開 会 の 辞
- 2 理 事 長 挨 拶
- 3 来 賓 祝 辞
- 4 表 彰
- 5 議 長 選 出
- 6 資 格 審 査 報 告
- 7 議 事 録 署 名 人 選 出
- 8 報 告 事 項
報告第1号 令和4年度事業報告について
- 9 決 議 事 項
第1号議案 令和4年度決算の承認について
監査報告
第2号議案 役員を選任について
- 10 議 長 退 任
- 11 閉 会 の 辞

令和5年度 永年在籍表彰者名簿

表彰規程第2条第1項第1号

会員として、10年在籍した者で、センターの発展に寄与した者(14名)

(敬称略)

会員番号	会員氏名	支部コード
1628	岡田 伸二郎	韮山地区
1639	土屋 和弘	韮山地区
1641	加藤 千昭	韮山地区
1642	水口 道子	韮山地区
2634	荒金 加代子	長岡地区
2637	石井 良明	長岡地区
3644	大川 正典	大仁地区
3645	古屋 健一	大仁地区
3647	川口 美智子	大仁地区
3653	山崎 時弘	大仁地区
3654	芳川 政美	大仁地区
3656	山田 重行	大仁地区
3658	長嶋 あけ美	大仁地区
3659	板倉 完治	大仁地区

報告第1号

令和4年度 事業報告について

公益社団法人伊豆の国市シルバー人材センターの令和4年度の事業を定款第36条第2項の規定により、総会に報告する。

令和5年6月15日提出

公益社団法人伊豆の国市シルバー人材センター

理事長 橋本 五十夫

令和4年度 事業報告

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

伊豆の国市シルバー人材センターは、平成2年の設立以来32年間にわたり、地域の高齢者に就業機会の確保・提供をし、働くことを通じて喜びや生きがいの充実と社会参加の推進を図ることによって、活力ある地域社会づくりに寄与することを目的に事業を推進してきました。

今、我が国の65歳以上の高齢者人口が3,600万人を超え、本格的な高齢社会を迎えている中で、国の65歳までの定年延長や継続雇用制度の義務化により、ここ数年、当センターでも60歳代の入会者が減ったことによる新規入会者の減少による人手不足や、平均年齢の上昇により会員の高齢化が進んでいます。また、長期化する新型コロナウイルス感染拡大は、雇用や経済をはじめ、社会生活に大きな打撃を与え、当センター事業への影響も出ています。

このような状況の中で、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」の精神に基づいて、伊豆の国市のご支援や各種団体及び発注者のご協力をいただきながら、財政の健全化と事業運営の効率化を進めるとともに、会員の拡大、就業機会の確保、適正就業の推進に努め、地域社会に貢献することを主たる目的に、事業計画に沿って各事業に取り組んできました。

その結果、令和4年度の事業実績は、請負・委任が契約件数1,505件（前年度対比1.7%増）、契約金額217,022,208円（前年度対比4.3%増）、就業延人員40,845人日（前年度対比0.8%増）。派遣事業が契約件数36件（前年度対比33.3%増）、契約金額72,389,460円（前年度対比16.2%増）、就業延人員10,386人日（前年度対比21.1%増）という結果となりました。

以下、主な事業の実施状況について報告します。

1 就業会員の増強、就業機会の開拓・拡大と就業率の向上

- (1) 会員の口コミ、市広報・カレンダー（10月、11月）、会報（8月、新年号）、ホームページ、マスメディア（6月、1月）等を活用し会員増強を図りました。
- (2) グループ就業やローテーション就業により、ワークシェアリングを推進しました。
- (3) 毎月求人情報を提供し、就業機会の拡大を図りました。

2 普及啓発事業を推進

- (1) 会員相互の連携を深め、シルバー人材センターの普及啓発のため10月に計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止といたしました。
- (2) 県下一斉普及啓発 Day への参加により、市社協主催の福祉イベントで当センターのPR及び会員の加入促進を図りました。
- (3) 市民及び会員を対象に、広域連携により8職種の参加型講習会を開催し、シルバー人材センター事業の理解を深めました。
- (4) 交通安全早朝一斉街頭広報(年4回)に参加しました。
- (5) 会報「シルバー伊豆の国市」の発行及び市カレンダー、ホームページ、配分金通知を活用し、会員及び市民への情報提供に努めました。

3 会員の技術習得機会の提供及び就業意識の向上

伊豆市シルバー人材センターとの共同開催により、会員の技能習得を目的に「植木の剪定」「刈払機」「駐車場スタッフ」「いきいきメイク術」「アドバイザーに求められる対話力」「スマホの安心・安全活用(入門編)」の各講習会を計8日開催し、当市から58名が受講しました。

4 安全・適正就業の推進

- (1) 年3回の大仁清掃センターでの安全運転注意喚起及び7月に運転適年齢診断研修、1月にK(危険)Y(予測)T(トレーニング)研修を開催し、車両事故発生抑制を図りました。
- (2) 就業前の「KYチェックシート」を活用し、安全意識の高揚を図りました。
- (3) 安全・適正就業推進委員会の抜打ち安全パトロールを年2回実施し、会員の事故防止に向けた取組を行いました。
- (4) 会員に対し、市の健康診断受診を推進しました。

5 福祉・家事援助サービスを推進

人手不足分野である「子育てサポーター養成講座」を伊豆の国市との共同開催により、女性会員の加入促進を図りました。

6 財政基盤の強化と事務局機能の効率化

- (1) 就業機会の開拓・拡大を行い、受託収益の増加に努めました。
- (2) 一ヶ月変形労働職員会議を開催し、歳出抑制や事務の効率化に向けた協議を行い、経常経費等の削減に努めました。

事業実施状況

1. 会議等

(1) 総会

月 日	場 所	種 別	事 項
令和4年 6月16日	伊豆の国市 アクシス かつらぎ 多目的ホー ル	令和4年度 定時総会 出席者 (13名)	1. 報告事項 ▶ 令和3年度監査報告について ▶ 令和3年度事業報告について 2. 議決事項 ▶ 令和3年度収支決算の承認について ▶ 理事の選任について 3. 報告事項 ▶ 令和4年度事業計画及び収支予算について

(2) 理事会

月 日	場 所	種 別	事 項
令和4年 5月16日	伊豆の国市 シルバー人 材センター 会議室	第1回 (13名)	1. 議決事項 ▶ 令和3年度事業報告(案)の承認について ▶ 令和3年度収支決算書(案)の承認について(会計監査報告) ▶ 令和4年度定時総会開催内容の承認について ▶ 永年在籍表彰者の承認について 2. 協議事項 ▶ 令和4年度定時総会の担当について 3. 報告事項 ▶ 委員会の報告について ▶ 3月の入会・退会者について ▶ 3月の事故報告について
令和4年 6月16日	伊豆の国市 アクシスカ つらぎ多目 的ホール	第2回 (13名)	1. 議決事項 ▶ 常務理事選定に関する件

<p>令和4年 7月25日</p>	<p>伊豆の国市 シルバー人 材センター 会議室</p>	<p>第3回 (13名)</p>	<p>1. 議決事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 公益社団法人伊豆の国市シルバー人材センター個人情報の保護に関する規程の一部改正について ➤ 令和4年度収支補正予算第1号(案)の承認について ➤ 公益社団法人伊豆の国市シルバー人材センター職員給与規程の一部改正について <p>2. 協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ インボイス制度への対応について ➤ 令和4年度委員会個別事業計画について <p>3. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 各委員会の報告について ➤ 4月～6月の入会・退会者について ➤ 4月～6月の事故報告について ➤ 総会の出席者、議決権行使書等の状況について
<p>令和4年 9月12日</p>	<p>伊豆の国市 シルバー人 材センター 会議室</p>	<p>第4回 (12名)</p>	<p>1. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 令和4年度会員全体会議及び全体奉仕作業、新年会等の実施について ➤ 伊豆の国市シルバー人材センター理事及び監事候補選考委員会の選考委員について ➤ ゆうちょ銀行口座振り込み手数料の有料化に伴う対応について ➤ インボイス制度への対応について ➤ 代表理事等の理事会に対する職務執行状況の報告について ➤ 各委員会報告について ➤ 7月～8月の入会・退会者について ➤ 7月～8月の事故報告について
<p>令和4年 10月3日</p>	<p>伊豆の国市 シルバー人 材センター 会議室</p>	<p>第5回 (13名)</p>	<p>1. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 伊豆の国市シルバー人材センター事務所移転について

<p>令和4年 11月14日</p>	<p>伊豆の国市 シルバー人 材センター 会議室</p>	<p>第6回 (13名)</p>	<p>1. 議決事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 公益社団法人伊豆の国市シルバー人材センター配分金規約の一部改正について ➤ 公益社団法人伊豆の国市シルバー人材センター職員給与規程の一部改正について ➤ 令和4年度収支補正予算第2号(案)の承認について <p>2. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 期中監査の報告について ➤ 各委員会の報告について ➤ 9月～10月の入会・退会者について ➤ 9月～10月の事故報告について ➤ 伊豆の国市シルバー人材センター事務所移転について
<p>令和5年 2月6日</p>	<p>伊豆の国市 シルバー人 材センター 会議室</p>	<p>第7回 (13名)</p>	<p>1. 議決事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 特定費用準備資金の保有に係る承認について ➤ 令和4年度収支補正予算第3号(案)の承認について ➤ 令和5年度役員賠償責任保険への加入について <p>2. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 各委員会の報告について ➤ 11月～12月の入会・退会者について ➤ 11月～12月の事故報告について ➤ 理事及び監事選考委員会の次期役員推薦について ➤ 伊豆の国市シルバー人材センター事務所移転について
<p>令和5年 3月13日</p>	<p>伊豆の国市 シルバー人 材センター 会議室</p>	<p>第8回 (13名)</p>	<p>1. 議決事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 令和4年度収支補正予算第4号(案)の承認について ➤ 令和5年度事業計画(案)の承認について ➤ 令和5年度収支予算(案)の承認について ➤ 公益社団法人伊豆の国市シルバー人材

			<p>センター就業開拓委員会運営要綱の制定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 公益社団法人伊豆の国市シルバー人材センター就業標準見積単価検討委員会運営要綱の制定について ➤ 公益社団法人伊豆の国市シルバー人材センター独自事業推進委員会の設置について <p>2. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 各委員会の報告について ➤ 1月、2月の入会・退会者について ➤ 1月、2月の事故報告について <p>3. 協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 令和5年度各員会個別事業計画(案)について
--	--	--	--

2. 監査、指導等

月 日	場 所	種 別	事 項
令和4年 5月12日	伊豆の国市 シルバー人材センター 会議室	決 算	<p>監査事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 前回の期中監査指摘事項に関すること ➤ 令和3年度事業報告に関すること ➤ 令和3年度収支決算書に関すること
令和4年 11月7日	伊豆の国市 シルバー人材センター 会議室	期 中	<p>監査事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 令和4年度事業計画(上半期)の業務執行状況の確認 ➤ 令和4年度収支計算書(上半期)の確認 ➤ 現金・預金に関する取引の確認 ➤ 未収金、未払金リストの確認等

3. 各委員会

(1) 安全・適正就業推進委員会

月 日	場 所	種 別	事 項
令和4年 6月29日 10月5日 令和5年 2月22日	伊豆の国市 大仁清掃セ ンター	注意喚起・ 講話	内 容 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 理事長・事務局による安全運転・健康管理の注意喚起、講話等の実施
令和4年 9月14日	あやめ会館 2階実習室	職群班リー ダー会議 (33名)	議 題 <ul style="list-style-type: none"> ➤ アルコールチェックの義務化に伴う対応について ➤ 令和4年度シルバー人材センター事故発生状況について ➤ 職群班を単位とした個別ヒアリングの実施について ➤ インボイス制度(令和5年10月から)の対応について
令和4年 10月27日	伊豆の国市 シルバー人 材センター 会議室	第1回 委員会 (9名)	議 題 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 令和4年度事故発生状況について ➤ 飛び石事故等の防止策について ➤ 抜き打ち安全パトロールについて ➤ ハンマーモアの購入(案)について
令和4年 11月17日 令和5年 3月17日	市内3地区	抜き打ち安 全パトロー ル (10名)	調査・点検内容 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 草刈り作業(観光情報センター、葦山運動公園)の状況確認 ➤ 剪定し破碎業務(農土香) ➤ 剪定作業(アクシスかつらぎ)
令和5年 1月19日	伊豆の国市 役所	講習会 (申し込み 16名)	高齢者ドライバーのための 危機予測トレーニング(KYT)研修
令和5年 3月6日	シルバー人 材センター 会議室	第2回 委員会 (2名)	議 題 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 令和5年度の個別事業計画について(委員長意見取りまとめ)

(2) 就業開拓（開発）委員会

月 日	場 所	種 別	事 項
令和4年 6月14日	修善寺農村環境 改善センター (1日間)	講習会 (当市 6名)	内 容 ➤ 「刈払機」講習 一般市民・会員対象 伊豆市シルバー人材センターとの 合同開催
令和4年 8月22日	伊豆の国市シル バー人材センタ ー会議室	担当者会 議(当市4 名)	内 容 ➤ 全シ協 令和4年度会員拡大・就業開 拓担当者会議(オンライン) 講義「一日も早くシルバー事業をコ ロナ前の水準に」 事例発表「流山市シルバー人材セン ター～女性会員の活躍の軌跡～」 事例発表「燕市シルバー人材センタ ー～女性会員・就業開拓について～」
令和4年 9月14日	伊豆の国市民交 流センター(く ぬぎ会館)	講習会 (当市 8名)	内 容 ➤ 「駐車場整理スタッフ」講習 一般市民・会員対象 伊豆市シルバー人材センターとの 合同開催
令和4年 10月17日	伊豆の国市役所 (福祉事務所)	陳情 (3名)	内 容 ➤ 要望書(補助金・就業拡大)提出、 現況報告
令和4年 10月25日 ～27日	修善寺虹の郷 (3日間)	講習会 (当市 13名)	内 容 ➤ 「植木の剪定」講習 一般市民・会員対象 伊豆市シルバー人材センターとの 合同開催
令和4年 10月24日 10月27日 11月1日 11月8～9日 11月17日	大仁庁舎 (全6回)	講習会 (当市 15名)	内 容 ➤ 子育てサポーター養成講座 一般市民・会員対象 伊豆の国市との合同開催

令和5年 2月3日	市民交流センター(くぬぎ会館) (1日間)	講習会 (当市 10名)	内 容 ➤ 「アドバイザーに求められる対話力」講習 一般市民・会員対象 伊豆市との合同開催
令和5年 3月6日	伊豆の国市 シルバー人材 センター会議室	第1回 委員会 (2名)	議 題 ➤ 令和5年度の個別事業計画について (委員長意見取りまとめ)

(3) 普及啓発委員会

月 日	場 所	種 別	事 項
令和4年 4月1日	伊豆の国市内	取材対応 (4名)	➤ 「月刊シルバー人材センター」取材 対応(理事3名、学芸員) 歴史文化紀行に伊豆の国市 掲載
令和4年 5月31日	伊豆の国市シル バー人材センタ ー会議室	第1回 委員会 (5名)	議 題 ➤ 会報シルバー伊豆の国第50号(8月 号)の発行について ➤ 役割分担について
令和4年 10月3日	伊豆の国市 シルバー人材セ ンター会議室	第2回 委員会 (6名)	議 題 ➤ 会報シルバー伊豆の国第51号(新 年号)の発行について ➤ 県下一斉普及啓発 Day の参加につい て
令和4年 10月25日	伊豆の国市 シルバー人材セ ンター会議室	第1回伊豆 市・伊豆の 国市役員打 合せ会議 (10名)	議 題 ➤ 浜松市シルバー人材センター独自 事業(結婚相談)視察研修報告 ➤ グループ討議 ➤ 全体協議
令和4年 11月24日	伊豆の国市民交 流センター(く ぬぎ会館)	講習会 (当市 10名)	内 容 ➤ 「スマホの安心・安全活用(入門 編)」講習 一般市民・会員対象 伊豆市との合同開催
令和5年 1月20日	市民交流センタ ー(くぬぎ会館) (1日間)	講習会 (当市 11名)	内 容 ➤ 「いきいきメイク術」講習 一般市民・会員対象 伊豆市との合同開催

令和4年 12月19日 令和5年 1月23日 2月1日 3月8日	伊豆の国市 シルバー人材セ ンター会議室	講習会 (計48 名)	内 容 ➤ 「スマホ教室」講習 一般市民・会員対象 センター単独事業
令和5年 1月31日	伊豆の国市 シルバー人材セ ンター会議室	第2回伊豆 市・伊豆の 国市役員打 合せ会議 (10名)	議 題 ➤ 出合いサポート事業会員利用調査 の状況について ➤ 出合いサポート事業実現に向けた 方策について ➤ 講習会(アドバイザーに求められる 対話力)開催について
令和5年 3月6日	伊豆の国市 シルバー人材セ ンター会議室	第3回 委員会 (2名)	議 題 ➤ 令和5年度の個別事業計画について (委員長意見取りまとめ)

(4) 理事及び監事候補者選考委員会

月 日	場 所	種 別	事 項
令和4年 11月14日	伊豆の国市 シルバー人材セ ンター会議室	第1回 委員会 (7名)	議 題 ➤ 選考委員会の役割について ➤ 現状の役員の状況について ➤ 選考方針(案)について ➤ 次期役員の推薦について
令和5年 1月23日	伊豆の国市 シルバー人材セ ンター会議室	第2回 委員会 書面表決 (7名)	議 題 ➤ 次期役員の推薦結果について ➤ 次期役員候補に関する報告(案)に ついて

4. その他の事業

令和4年

開催月日	会議内容	場所
4月1日	取り組み紹介「民間協働での地域貢献を目指す」	じゃぼとら掲載
4月11日	春の全国交通安全運動街頭広報	市内
4月11日	理事長県シ連役員選考委員会	三島市シルバー人材センター
4月20日	入会説明会 5名	センター会議室
4月21日	第1回東部ブロック事務局長会議	富士市高齢者就業センター
4月28日	第1回県シ連事務局長会議	静岡市労政会館
5月17日	派遣事業事務担当者小勉強会	リモート会議
5月20日	入会説明会 6名	センター会議室
5月23日	理事長1回安全・適正就業委員会	静岡市労政会館
5月31日	派遣元責任者講習会	静岡市商工会議室
5月31日	理事長県シ連第1回理事会	静岡市労政会館
6月3日	第2回東部ブロック事務局長会議	富士市高齢者就業センター
6月7日	大仁安管協定時総会	サンバレー富士見
6月20日	入会説明会 2名	センター会議室
6月22日	県シ連定時総会	静岡市労政会館
7月5日	市長訪問 役員4名	伊豆の国市役所
7月11日	夏の交通安全県民運動街頭広報	市内
7月13日	県シ連安全・適正就業研修会	静岡市労政会館
7月20日	入会説明会 1名	センター会議室
8月19日	入会説明会 2名	センター会議室
9月9日	東部ブロック新任職員研修会	富士市高齢者就業センター
9月20日	入会説明会 6名	センター会議室
9月21日	秋の交通安全県民運動街頭広報	市内
9月21日	独自事業(結婚相談事業)視察研修	浜松市シルバー人材センター
9月22日	インボイス制度に係る実務担当者研修会	静岡市労政会館
10月1日	市広報新会員募集記事掲載	市広報
10月20日	第2回県シ連事務局長会議	静岡市労政会館
10月20日	入会説明会 5名	センター会議室
11月1日	東部ブロック業務係職員研修会	富士市教育プラザ
11月1日	市カレンダー(11月)PR記事掲載	市広報

11月24.25日	第18回シルバー人材センター全国女性代表者会議	東京仕事センター
12月7日	令和4年度女性職員研修会	富士市文化会館
11月19日	入会説明会 6名	センター会議室
12月15日	年末の交通安全県民運動街頭広報	市 内
12月20日	入会説明会 5名	センター会議室

令和5年

開催月日	会 議 内 容	場 所
1月1日	伊豆日日新聞PR広告掲載	伊豆日日新聞
1月10日	シルバー伊豆の国（新年号）発行	事務局
1月20日	入会説明会 8名	センター会議室
1月30日	県シ連第3回事務局長会議	静岡労政会館
2月7日	女性員会研修会	あざれあ
2月9日	東部ブロック事務局長会議経理職員研修会	富士市シルバー人材センター
2月15日	大仁地区安全運転管理協会事業主研修会	ニュー八景園
2月20日	入会説明会 17名	センター会議室
3月10日	東部ブロック事務局長研修会	富士市シルバー人材センター
3月20日	入会説明会 4名	センター会議室

令和4年度会員数及び事業実績

1 会員の登録状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日 (単位：人)

	前年度末 会員数	当 年 入会員数	当 年 退会員数	当年末 会員数	就業実 人員	就 業 率
男	351	40	33	358	271	75.7%
女	154	23	22	155	126	81.3%
計	505	63	55	513	397	77.4%

2 年齢階層・性別人員

(単位：人)

	64歳以下	65～69歳	70歳以上	合 計
男	6	57	295	358
女	8	28	119	155
計	14	85	414	513

3 受注件数と履行期間別件数

公共・民間別実績件数 (単位：件)

履行期間別受注件数

(単位：件)

公 共 事 業	204	
民 間 事 業	一 般 企 業	278
	個 人 ・ 家 庭	1,022
	独 自 事 業	1
合 計	1,505	

10日未満	517
10日以上1ヶ月未満	408
1ヶ月以上3ヶ月未満	398
3ヶ月以上6ヶ月未満	27
6ヶ月以上	155
合 計	1,505

4 公共民間事業実績

令和4年4月1日～令和5年3月31日 (単位：円)

	配 分 金	材 料 費 等	事 務 費	合 計
公 共 事 業	103,716,522	5,868,757	5,308,947	114,894,226
一 般 企 業 等	62,455,259	1,243,810	6,174,318	69,873,387
個 人 ・ 家 庭	22,505,000	4,427,797	2,253,018	29,185,815
独 自 事 業	1,609,702	1,298,526	160,552	3,068,780
合 計	190,286,483	12,838,890	13,896,835	217,022,208
前 年 度 対 比 (%)				
公 共 事 業	106.4	95.0	105.8	105.7
一 般 企 業 等	99.6	95.7	99.8	99.6
個 人 ・ 家 庭	108.0	100.5	108.2	106.8
独 自 事 業	158.0	153.5	158.7	156.1
全 体	104.5	100.9	103.8	104.3

令和4年度 シルバー派遣事業実績（実施事業所）

公益社団法人静岡県シルバー人材センター連合会 伊豆の国市事務所

	①受注 件数 (件)	②仕事の分類別 派遣労働登録会員数 (人)			③派遣 就業実 人員 (人)	④派遣就業 延人員 (人日)	⑤契約金額 (※円単位で記入のこと)		
		男性	女性	合計			会員賃金	手数料等	合計
仕事の分類別実績	管 理 的 職 業	0	0	0	0	0	0	0	0
	専門的・技術的職業	0	7	1	8	0	0	0	0
	事 務 的 職 業	0	3	4	7	0	0	0	0
	販 売 の 職 業	2	0	2	2	417	2,421,192	696,316	3,117,508
	サービスの職業	14	14	6	20	2,844	10,066,008	2,861,685	12,927,693
	保 安 の 職 業	0	0	0	0	0	0	0	0
	農林漁業の職業	0	9	1	10	0	0	0	0
	生産工程の職業	1	1	1	2	211	891,400	224,083	1,115,483
	輸送・機械運転の職業	4	13	0	13	508	2,492,513	700,929	3,193,442
	建設・採掘の職業	2	4	0	4	4	29,495	9,216	38,711
	運搬・清掃・包装等の職業	13	59	14	73	6,402	41,136,528	10,860,095	51,996,623
	上 段 計	36	110	29	139	117	10,386	57,037,136	15,352,324
公共・民間別実績	下 段 計	36				10,386	57,037,136	15,352,324	72,389,460
	公 共 事 業	24				7,909	46,109,134	12,340,762	58,449,896
	民間事業 一 般 企 業 等	12				2,477	10,928,002	3,011,562	13,939,564
	個 人 ・ 家 庭	0				0	0	0	0

⑥手数料等のうち、 シルバー連合本部が センターの諸経費として 割り当てた金額 (円)
5,899,602

⑦派遣期間別受注件数 (件)	
10日未満	0
10日以上1ヶ月未満	2
1ヶ月以上3ヶ月未満	1
3ヶ月以上6ヶ月未満	3
6ヶ月以上	30
合 計	36

第1号議案

令和4年度 決算の承認について

公益社団法人伊豆の国市シルバー人材センターの令和4年度の決算を定款第36条第2項の規定により、総会に報告するとともに、総会の承認を求める。

令和5年6月15日提出

公益社団法人伊豆の国市シルバー人材センター
理事長 橋本 五十夫

貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	50,000	50,000	0
当座預金	752,371	501,836	250,535
普通預金	23,001,350	21,109,035	1,892,315
未収金	18,842,923	18,961,847	△ 118,924
仮払金	200,000	200,000	0
立替金	0	0	0
前払金	0	0	0
法人会計貸出金	0	0	0
流動資産合計	42,846,644	40,822,718	2,023,926
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
減価償却引当資産	4,284,044	4,599,044	△ 315,000
財政運営資金積立資産	23,000,000	23,000,000	0
車輛運搬具（剪定枝）	1	1	0
粉碎機保守経費資金	0	0	0
車輛取得資金積立資産	9,908,180	12,997,130	△ 3,088,950
令和4年度計画分設備取得資金積立金	2,000,000	0	2,000,000
特定資産合計	39,192,225	40,596,175	△ 1,403,950
(3) その他固定資産			
建物	3,674,197	3,907,831	△ 233,634
建物附属設備	528,680	605,945	△ 77,265
構築物	343,901	523,326	△ 179,425
車輛運搬具	3,041,706	732,616	2,309,090
什器備品	678,413	553,264	125,149
保証金	21,000	21,000	0
預託金	21,560	8,920	12,640
その他固定資産合計	8,309,457	6,352,902	1,956,555
固定資産合計	47,501,682	46,949,077	552,605
資産合計	90,348,326	87,771,795	2,576,531
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	14,661,857	14,489,698	172,159
前受金	0	0	0
預り金	232,317	219,623	12,694
仮受金	0	0	0
賞与引当金	0	0	0
公益会計借入金	0	0	0
流動負債合計	14,894,174	14,709,321	184,853
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	14,894,174	14,709,321	184,853
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	75,454,152	73,062,474	2,391,678
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	75,454,152	73,062,474	2,391,678
負債及び正味財産合計	90,348,326	87,771,795	2,576,531

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	213,953,428	206,109,534	7,843,894
受取配分金	188,676,781	180,954,969	7,721,812
受取材料費等	11,540,364	11,876,638	△ 336,274
受取事務費	13,736,283	13,277,927	458,356
独自事業収益	3,068,780	1,965,190	1,103,590
(独)受取配分金	1,609,702	1,018,441	591,261
(独)受取材料費	1,298,526	845,635	452,891
(独)受取事務費	160,552	101,114	59,438
労働者派遣事業等受託収益	5,899,795	5,571,034	328,761
労働者派遣事業等受託収益	5,899,795	5,571,034	328,761
受取会費	960,000	984,000	△ 24,000
正会員受取会費	960,000	984,000	△ 24,000
賛助会員受取会費	0	0	0
受取補助金等	24,000,000	24,000,000	0
受取連合交付金	12,000,000	12,000,000	0
受取(市)補助金	12,000,000	12,000,000	0
受取寄附金	0	0	0
受取寄附金	0	0	0
特定資産運用益	163	166	△ 3
特定資産受取利息	163	166	△ 3
雑収益	27,114	21,845	5,269
受取利息	437	375	62
雑収益	26,677	21,470	5,207
経常収益計	247,909,280	238,651,769	9,257,511
(2) 経常費用			
事業費	240,313,895	229,363,967	10,949,928
支払配分金	188,676,781	180,954,969	7,721,812
支払材料費等	5,789,360	6,176,111	△ 386,751
(独)支払配分金	1,609,702	1,018,441	591,261
(独)支払材料費	1,298,526	845,635	452,891
職員基本給	13,459,890	13,721,616	△ 261,726
職員特別手当	4,422,507	4,500,526	△ 78,019
臨時雇賃金	2,419,338	992,978	1,426,360
職員諸手当	804,116	706,580	97,536
法定福利費	3,294,098	3,096,632	197,466
退職給付費用	607,220	796,652	△ 189,432
福利厚生費	36,745	36,220	525
会議費	250	0	250
旅費交通費	97,293	11,684	85,609
通信運搬費	618,846	550,978	67,868
減価償却費	1,173,654	906,475	267,179
什器備品費	235,320	148,280	87,040
消耗品費	951,458	1,123,362	△ 171,904
修繕費	977,175	309,187	667,988
印刷製本費	613,351	629,560	△ 16,209
光熱水料費	769,328	515,435	253,893
賃借料	5,269,790	8,176,936	△ 2,907,146
保険料	2,451,088	2,325,290	125,798
諸謝金	222,940	204,500	18,440
租税公課	866,639	749,431	117,208
支払負担金	31,800	58,063	△ 26,263
委託費	3,082,803	194,658	2,888,145
雑損失	0	0	0
教材費	0	26,190	△ 26,190
作業適応訓練費	19,200	172,800	△ 153,600
支払手数料	510,504	414,478	96,026
貸倒損失	0	0	0
社会参加費	0	0	0
雑費	4,173	300	3,873

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
管理費	5,203,707	5,049,951	153,756
職員基本給	1,412,910	1,482,384	△ 69,474
職員特別手当	464,240	486,205	△ 21,965
臨時雇賃金	0	0	0
職員諸手当	84,402	76,325	8,077
法定福利費	347,313	326,344	20,969
退職給付費用	106,780	86,068	20,712
福利厚生費	3,899	3,913	△ 14
会議費	53,542	63,748	△ 10,206
役員等旅費交通費	567,000	513,000	54,000
旅費交通費	36,900	11,240	25,660
通信運搬費	123,758	124,007	△ 249
減価償却費	123,201	8,482	114,719
什器備品費	0	0	0
消耗品費	64,082	92,581	△ 28,499
修繕費	2,142	0	2,142
印刷製本費	189,709	164,714	24,995
光熱水料費	70,767	47,017	23,750
賃借料	118,527	425,552	△ 307,025
保険料	67,490	67,570	△ 80
諸謝金	0	0	0
租税公課	41,749	47,569	△ 5,820
支払負担金	367,850	362,850	5,000
委託費	920,554	623,830	296,724
支払手数料	36,887	36,552	335
雑費	5	0	5
経常費用計	245,517,602	234,413,918	11,103,684
評価損益等調整前当期経常増減額	2,391,678	4,237,851	△ 1,846,173
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,391,678	4,237,851	△ 1,846,173
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
車輛運搬具売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
車輛運搬具除却損	0	0	0
過年度損失修正	0	0	0
過年度賞与引当金繰入額	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,391,678	4,237,851	△ 1,846,173
一般正味財産期首残高	73,062,474	68,824,623	4,237,851
一般正味財産期末残高	75,454,152	73,062,474	2,391,678
II 指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
一般正味財産への振替額	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	75,454,152	73,062,474	2,391,678

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産について、定額法により直接減価償却を実施している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の増減及びその残高

特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期残高	当期増加額	当期減少額	当期残高
特定資産				
減価償却引当資産	4,599,044	0	315,000	4,284,044
財産運営資金積立資産	23,000,000	23,000,000	23,000,000	23,000,000
車輛運搬具(剪定枝)	1	0	0	1
粉砕機保守経費資金資産	0	0	0	0
車輛取得資金積立資産	12,997,130	0	3,088,950	9,908,180
令和4年度計画分設備取得 資金積立金	0	2,000,000	0	2,000,000
合 計	40,596,175	25,000,000	26,403,950	39,192,225

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
特定資産				
減価償却引当資産	4,284,044	—	(4,284,044)	—
財産運営資金積立資産	23,000,000	—	(23,000,000)	—
車輛運搬具(剪定枝)	1	—	(1)	—
粉砕機保守経費資金資産	0	—	(0)	—
車輛取得資金積立資産	9,908,180	—	(9,908,180)	—
令和4年度計画分設備取得 資金積立金	2,000,000	—	(2,000,000)	—
合 計	39,192,225	0	(39,192,225)	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	5,562,738	1,888,541	3,674,197
建物附属設備	1,153,237	624,557	528,680
構築物	1,794,253	1,450,352	343,901
車輛運搬具 (剪定枝)	8,921,124	8,921,123	1
車輛運搬具	8,036,470	4,994,764	3,041,706
什器備品	2,630,188	1,951,775	678,413
合 計	28,098,010	19,831,112	8,266,898

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
市補助金	伊豆の国市	—	12,000,000	12,000,000	—	—
連合会交付金	静岡県連合	—	12,000,000	12,000,000	—	—
合 計		—	24,000,000	24,000,000	—	

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の2に記載されているため省略する。

2. 引当金の明細

該当事項なし。

財 産 目 録

令和5年3月31日 現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)	現金	センター保管	シルバー人材センター事業運転資金	50,000	
	当座預金	ゆうちょ当座預金	シルバー人材センター事業運転資金	752,371	
	普通預金	静岡銀行菰山支店	シルバー人材センター事業運転資金	1,600,413	
	〃	伊豆の国農協菰山支店	シルバー人材センター事業運転資金	20,167,224	
	〃	伊豆の国農協田中支店	シルバー人材センター事業運転資金	772,724	
	〃	伊豆の国農協長岡支店	シルバー人材センター事業運転資金	460,989	
	未収金	受託事業収益188件他	シルバー人材センター事業運転資金	18,842,923	
	仮払金	蛭が島茶屋3月分材料費他	シルバー人材センター事業運転資金	200,000	
流 動 資 産 合 計			42,846,644		
(固定資産)	特定資産	減価償却引当資産	普通貯金 富士伊豆農協菰山支店	固定資産取得のための積立として管理している	4,284,044
		財政運営資金積立資産	普通貯金 富士伊豆農協菰山支店	公益目的事業の積立資産であり事業運営資金として管理している	23,000,000
		車両運搬具(剪定枝)	タウンビバー1台	公益的事業資産として使用している	1
		粉砕機保守経費資金資産	普通貯金 富士伊豆農協菰山支店	公益目的事業の積立資産であり粉砕機保守料資金として管理している	0
	その他 固定資産	車両取得資金積立資産	普通貯金 富士伊豆農協長岡支店	車両取得のための積立として管理している	9,908,180
		令和4年度計画分設備取得資金積立金	普通貯金 富士伊豆農協菰山支店	公益目的事業の積立資産であり設備取得資金として管理している	2,000,000
		建物	大仁地区倉庫	公益目的事業として使用している	3,674,197
		建物附属設備	大仁地区倉庫	公益目的事業として使用している	528,680
		構築物	大仁地区倉庫	公益目的事業として使用している	343,901
		車両運搬具	車両 5台	公益目的事業として使用している	3,041,706
什器備品	菰山倉庫他	公益目的事業として使用している	678,413		
保証金	自動車共済	公益目的事業としての出資金	21,000		
預託金	車両 3台	自動車リサイクル料	21,560		
固 定 資 産 合 計			47,501,682		
資 産 合 計			90,348,326		
(流動負債)	未払金	会員配分金他	シルバー人材センター事業に供する配分金の未払い額他	14,661,857	
	預り金	給与費	職員の社会保険料・所得税 ・住民税等	232,317	
	仮受金		保険金自己負担金等		
流 動 負 債 合 計			14,894,174		
負 債 合 計			14,894,174		
正 味 財 産			75,454,152		


監査報告書

令和5年5月10日

公益社団法人伊豆の国市シルバー人材センター

理事長 橋本 五十夫 殿

公益社団法人伊豆の国市シルバー人材センター

監事 内田 秀文  (印)

監事 土屋 建次  (印)

私達は、公益社団法人伊豆の国市シルバー人材センターの令和4年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、会計帳票並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて実施した。
- (2) 業務監査については、理事から実施事業の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて実施した。

2 監査の結果

- (1) 公益社団法人伊豆の国市シルバー人材センターの令和4年度の計算書類及びその附属明細書は、一般に公正妥当と認められる公益法人会計基準に準拠しており公益社団法人伊豆の国市シルバー人材センターの正味財産の増減の状況及び財政状態を適正に表示しているものと認める。
- (2) 公益社団法人伊豆の国市シルバー人材センターの令和4年度の事業報告及び附属明細書の内容は真実であり、法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。
- (3) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

第2号議案

役員を選任について

公益社団法人伊豆の国市シルバー人材センター役員を選任について、定款第12条第1項第2号及び第21条第1項の規定により、総会の議決を求める。

令和5年6月15日提出

公益社団法人伊豆の国市シルバー人材センター
理事長 橋本 五十夫

公益社団法人伊豆の国市シルバー人材センター
理事及び監事候補者

任期 令和5年6月総会 ～ 令和7年6月総会まで

No.	役職	氏名	地区	新・再
1	理事	堀江 正紀	大仁	再
2	理事	関森 伸哉	韮山	再
3	理事	佐藤 善作	大仁	再
4	理事	柳本加代子	長岡	再
5	理事	土屋 貞雄	韮山	新
6	理事	小川 幸子	韮山	新
7	理事	狩野 謙一	長岡	新
8	理事	関野 神市	長岡	新
9	理事	渡辺 政子	長岡	新
10	理事	鈴木 二郎	大仁	新
11	理事	杉山 かつよ	大仁	新

12	監事	土屋 建次	韮山	再
13	監事	杉山 末吉	長岡	新

資 料

- 令和 5 年度事業計画
- 令和 5 年度収支予算書
- 令和 5 年度収支予算書 (注記)

公益社団法人 伊豆の国市シルバー人材センター

令和5年度 事業計画

I 基本方針

少子高齢化と人口減少が進展している中で、社会の活力を維持し、持続可能な社会を実現していくためには、働く意欲のある高齢者がその経験と能力を生かして、生涯現役で活躍できる社会の実現が求められています。

シルバー人材センター事業では、地域の日常生活に密着した就業機会を提供するなどにより、高齢者の社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実、健康の維持増進、ひいては地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などに貢献し、シルバー人材センター事業におけるSDGs（「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標）に繋がります。

この様な中、伊豆の国市シルバー人材センターでは、令和5年度における目標と取り組むべき具体的事業の方向性を定め、共に働き、共に助け合っていくことを目指す「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、高齢者の受け皿としての機能を十分果たし、「社会の担い手」として実践できるよう、会員・役職員が一丸となって事業の推進に取り組んでまいります。

重点目標

1. 会員の確保・拡大
2. 就業機会の拡大
3. 安全・適正就業の推進
4. 運営組織の活性化
5. SDGsへの取り組み

数値目標

1. 会員数 550人
2. 就業率 78.2%
3. 受注契約金額(請負・委任事業) 222,700千円

II 実施計画

1 会員の確保・拡大

全シ協から示された「令和5年度事業計画における第2次会員100万人達成計画」がコロナ禍の影響により、当面、コロナ前の水準(令和元年度)の会員数に回復させることを最優先に「連合の令和5年度目標数」を設定したため、引き続き会員拡大の取り組みを推進します。

(1) 入会の促進

- ① 入会説明会参加者の一定数が入会していることから、月例会説明会に加え、出張入会説明会を開催し、入会者の増加を図ります。
- ② 会員の協力による体験談を交えた就業紹介を実施し、新規会員の確保及び加入を促進します。

(2) 退会の抑制

- ① 未就業会員には、定期的に就業(求人)情報を提供や就業相談を実施し、より長く伊豆の国市シルバー人材センター会員として活躍できる環境の整備を図ります。

(3) 広告宣伝の実施

- ① 市広報紙、ホームページ、会報などへ定期的に伊豆の国市シルバー人材センター会員の募集を掲載します。
- ② 募集パンフレット等を作成して、会員によるポスティングや各イベントにおいてPR活動を展開します。

(4) 多様な人材の確保

- ① 資格・技能を保有した会員を把握・管理し、様々な発注者のニーズに的確な応えられる仕組みの整備を図ります。

(5) 女性会員の増加

- ① 女性限定の入会説明会と研修会をセットにした入会手続きを実施します。
- ② 女性会員対象の講座等を開催するとともに、会員間の交流を図ります。

2 就業機会の拡大

就業機会の拡大を図るため、発注者のニーズを的確に把握し、民間企業への訪問や受注内容を紹介したパンフレット等を作成し、新規就業先の開拓と既存契約先における継続就業の維持に努めます。

(1) 就業先の開拓

- ① 伊豆の国市シルバー人材センターの就業開拓の方法等を見直すことにより、多くの会員に就業機会を紹介できる体制の整備を図ります。
- ② 女性会員の就業先確保や受注件数の増加も図ります。

(2) 会員の技術・技能の向上

- ① 就業に繋がる次の講習会を開催し、会員が就業する際の不安を軽減します。

- ② 植木剪定・除草作業等の後継者の育成を図ります。
 - ・植木剪定技能等講習会：年2回(内1回後継者の育成を図る講習会)
 - 未就業会員に植木剪定・除草作業等を紹介し、就業者の増加を図ります。
 - ・家事援助講習会：年2回
 - ・接遇講習会：年2回
 - ・手芸・園芸講習会：年2回
- (3) 就業相談の活性化
 - ① 毎月20日の入会説明会を実施し、シルバー人材センター事業の制度や活動・就業にあたっての心構えなどを理解できるよう図るとともに、潜在能力の掘り起こしに努めます。
 - ② 未就業会員に随時個別面談や電話等による就業相談を実施します。
- (4) 独自事業の推進
 - ① 会員の自主的な取り組みにより実施される独自事業の良好な運営を図ります。
 - ② 新たな独自事業を開拓し、会員の就業機会の拡大を図ります。

3 安全・適正就業の推進

会員の就業については、能力と体力に見合った仕事を通じて「健康・生きがい・社会参加」を希望する高齢者等に安全に遂行できるようにすることが課題であります。

- (1) 安全就業の推進
 - ① 安全パトロールを引き続き実施するとともに、安全・適正就業委員及び職群班が中心となって安全な就業の方法等を検討し、安全就業の推進を図ります。
- (2) 安全意識の向上
 - ① 就業前の「KYチェックシート(危険予知チェック)」を活用し、事前チェックを実施するとともに、会員一人ひとりの安全意識の向上を図ります。
- (3) 安全講習会の開催
 - ① 会員が安全に就業できるよう安全に関する次の講習会を開催し、事故発生の防止を図ります。
 - ・草刈機取扱講習会等の開催：年1回以上
 - ・健康管理に関する講習会の開催：年2回
- (4) 就業の適正化
 - ① 厚生労働省からの「適正就業ガイドライン」をもとに請負・委任、派遣、職業紹介の就業形態について厳正な業務を推進します。
 - ② 多様な働き方を希望する会員が就業機会を得られる体制の整備を図ります。

- ③ ローテーション就業の推進やワークシェアリングの徹底により特定の人に仕事が集中しないように就業の公平性と未就業会員の就業確保に努めます。

4 運営組織の活性化

会員組織の充実と運営組織の活性化に向けて、次の取り組みを推進します。

(1) 運営組織の活性化

- ① 職群班で検討されている情報を理事会・委員会等で共有し、課題解決に向けて連携できる体制の整備を図ります。
- ② 役員の資質向上とシルバー人材センター事業発展のための先進事例等の調査や先進シルバー人材センターの調査研究を実施します。

(2) 会員組織の活性化

- ① 職群班ごとの新入会員研修の充実及び未就業相談会を検討します。
- ② 女性会員の職群班の枠を超えた交流を実施します。
- ③ 他市シルバー人材センターとの女性会員間の交流を実施します。

(3) 事務局組織の活性化

- ① 事務分担の明確化及び事務マニュアルの整備をします。
- ② 各種研修会への参加及び他シルバー人材センターとの連携により職員の資質向上を図ります。
- ③ 事業を円滑かつ効率的に推進するために定期的な会議を実施します。

(4) 生きがい・魅力づくり

就業を通じて生きがいに繋げる役割はもちろんのこと、地域社会との連携など、就業以外でも伊豆の国市シルバー人材センターの会員であることに生きがいを感じられるよう、生きがい・魅力づくりを推進します。

5 SDGsへの取り組み

全シ連の取り組みに呼応して、伊豆の国市シルバー人材センターとして「SDGs(持続可能な開発目標)推進宣言」を行い、持続可能な目標に向けた具体的な取り組みを推進します。

令和5年度 収 支 予 算 書
令和5年4月 1日から令和6年 3月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受託事業収益	221,246,000	215,779,000	5,467,000	
受取配分金	193,990,000	185,130,000	8,860,000	会員配分金
受取材料費等	12,740,000	14,560,000	△ 1,820,000	
受取事務費	14,516,000	16,089,000	△ 1,573,000	事務費10%(民間・家庭)、5%(公共)
独自事業収益	1,900,000	1,285,000	615,000	
(独)受取配分金	1,000,000	650,000	350,000	軽ヶ島茶屋会員配分金
(独)受取材料費	800,000	570,000	230,000	
(独)受取事務費	100,000	65,000	35,000	事務費10%
労働者派遣事業等受託収益	5,600,000	5,500,000	100,000	
労働者派遣事業等受託収益	5,600,000	5,500,000	100,000	派遣事業活動拠点委託料
受取会費	1,000,000	1,000,000	0	
正会員受取会費	1,000,000	1,000,000	0	会費2,000円
賛助会員受取会費	0	0	0	
受取補助金等	24,000,000	24,000,000	0	
受取連合交付金	12,000,000	12,000,000	0	国庫補助金
受取(市)補助金	12,000,000	12,000,000	0	市補助金
受取寄附金	0	0	0	
受取寄附金	0	0	0	
特定資産運用益	1,000	1,000	0	
特定資産受取利息	1,000	1,000	0	特定資産普通預金利息
雑収益	31,000	41,000	△ 10,000	
受取利息	1,000	1,000	0	普通預金利息
雑収益	30,000	40,000	△ 10,000	ヘルメット等の販売
経常収益計	253,778,000	247,606,000	6,172,000	
(2) 経常費用				
事業費	248,556,000	244,657,000	3,899,000	
支払配分金	193,990,000	185,130,000	8,860,000	
支払材料費等	9,341,000	14,560,000	△ 5,219,000	材料費立替等
(独)支払配分金	1,000,000	650,000	350,000	
(独)支払材料費等	800,000	570,000	230,000	
職員基本給	11,885,000	13,461,000	△ 1,576,000	職員給与(従事割合91.10%)
職員特別手当	4,724,000	4,805,000	△ 81,000	職員賞与(従事割合91.10%)
臨時雇賃金	2,433,000	2,943,000	△ 510,000	臨時職員賃金(従事割合91.10%)
職員諸手当	574,000	835,000	△ 261,000	職員諸手当(従事割合91.10%)
法定福利費	2,693,000	3,115,000	△ 422,000	社会保険料他(従事割合91.10%)
退職給付費用	656,000	647,000	9,000	退職給付掛金(従事割合91.10%)
福利厚生費	42,000	37,000	5,000	職員健康診断(従事割合91.10%)
会議費	8,000	2,000	6,000	会議等お茶代
旅費交通費	90,000	98,000	△ 8,000	職員・会員等の旅費及び日当
通信運搬費	620,000	716,000	△ 96,000	郵送料・電話料等
減価償却費	1,595,000	1,174,000	421,000	固定資産減価償却費
什器備品費	200,000	250,000	△ 50,000	倉庫備品購入費
消耗品費	1,090,000	933,000	157,000	コピー料及び事務用品・備品部品等の購入費
修繕費	560,000	350,000	210,000	車輛車検整備・機器等の修理費
印刷製本費	579,000	652,000	△ 73,000	会報・パンフレット・封筒等の印刷費
光熱水料費	940,000	766,000	174,000	事務所・倉庫等の電気水道料
賃借料	5,996,000	5,730,000	266,000	事務機器・車輛等の借上料
保険料	2,399,000	2,437,000	△ 38,000	総合賠償保険・自動車任意保険等
諸謝金	801,000	200,000	601,000	講師謝礼・地域職群班長活動費
租税公課	2,272,000	870,000	1,402,000	消費税・固定資産税・自動車税等
支払負担金	34,000	34,000	0	講習会等
委託費	2,599,000	3,014,000	△ 415,000	シルバーシステム使用料・事務所清掃委託等
雑損失	0	0	0	
教材費	10,000	10,000	0	講習会教材等
作業適応訓練費	92,000	92,000	0	講習会受講料等
支払手数料	501,000	541,000	△ 40,000	口座振込手数料等
貸倒損失	1,000	1,000	0	未収金等回収不能金
社会参加費	30,000	30,000	0	奉仕作業等の経費
雑費	1,000	4,000	△ 3,000	

令和5年度 収 支 予 算 書
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備 考
管理費	5,222,000	5,454,000	△ 232,000	
職員基本給	1,162,000	1,414,000	△ 252,000	職員給与（従事割合8.90％）
職員特別手当	462,000	505,000	△ 43,000	職員賞与（従事割合8.90％）
臨時雇賃金	0	0	0	臨時職員賃金（従事割合8.90％）
職員諸手当	57,000	87,000	△ 30,000	職員諸手当（従事割合8.90％）
法定福利費	264,000	328,000	△ 64,000	社会保険料他（従事割合8.90％）
退職給付費用	65,000	107,000	△ 42,000	退職給付掛金（従事割合8.90％）
福利厚生費	5,000	4,000	1,000	職員健康診断（従事割合8.90％）
会議費	60,000	56,000	4,000	永年表彰者記念品代
役員等旅費交通費	550,000	538,000	12,000	理事・監事等の費用弁償
旅費交通費	110,000	66,000	44,000	職員・役員等の旅費及び日当
通信運搬費	80,000	133,000	△ 53,000	郵送料・電話料等
減価償却費	156,000	124,000	32,000	固定資産減価償却費
什器備品費	0	0	0	
消耗品費	106,000	98,000	8,000	事務用品購入等
修繕費	0	3,000	△ 3,000	
印刷製本費	222,000	190,000	32,000	封筒等の印刷費
光熱水料費	78,000	50,000	28,000	事務所の電気水道料
賃借料	201,000	188,000	13,000	事務所・事務機器等の賃借料
保険料	74,000	75,000	△ 1,000	役員賠償責任保険・個人情報保険料
諸謝金	0	0	0	
租税公課	207,000	76,000	131,000	消費税等
支払負担金	417,000	417,000	0	県シ運等の負担金
委託費	851,000	909,000	△ 58,000	公益申請・労務申請・事務所清掃委託料等
支払手数料	95,000	85,000	10,000	法人会計口座振込手数料等
雑費	0	1,000	△ 1,000	
経常費用計	253,778,000	250,111,000	3,667,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	0	△ 2,505,000	2,505,000	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	△ 2,505,000	2,505,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益	0	0	0	
車輛運搬具売却益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	0	0	0	
車輛運搬具除却損	0	0	0	
過年度損失修正	0	0	0	
過年度賞与引当金繰入額	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	△ 2,505,000	2,505,000	
一般正味財産期首残高	73,062,474	73,062,474	0	
一般正味財産期末残高	73,062,474	70,557,474	2,505,000	
II 指定正味財産増減の部				
(1) 収益				
収益計	0	0	0	
(2) 費用				
一般正味財産への振替額	0	0	0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
費用計	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	73,062,474	70,557,474	2,505,000	

令和5年度 収 支 予 算 書(注記)

令和5年 4月 1日から令和6年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備 考
【投資活動収支の部】				
<投資活動収入>				
固定資産売却収入				
車輛運搬具売却収入				
特定資産取崩収入	23,000,000	26,405,000	△ 3,405,000	
減価償却引当資産取崩収入	0	315,000	△ 315,000	
財政運営資金積立資産取崩収入	23,000,000	23,000,000	0	財政運営資金積立資産取崩
粉碎機保守経費資金取崩収入	0	0	0	
車両取得資金積立資産取崩収入	0	3,090,000	△ 3,090,000	
敷金・保証金等戻り収入	0	0	0	
預託金戻り収入	0	0	0	
投資活動収入計	23,000,000	26,405,000	△ 3,405,000	
<投資活動支出>				
固定資産取得支出	0	3,405,000	△ 3,405,000	
車輛運搬具購入支出	0	3,090,000	△ 3,090,000	
什器備品購入支出	0	315,000	△ 315,000	
建物購入支出	0	0	0	
建物附属設備購入支出	0	0	0	
構築物購入支出	0	0	0	
特定資産取得支出	25,000,000	29,388,000	△ 4,388,000	
減価償却引当資産取得支出	0	1,298,000	△ 1,298,000	減価償却引当資産積立
財政運営資金積立資産取得支出	23,000,000	23,000,000	0	財政運営資金積立資産積立
粉碎機保守経費資金支出	0	0	0	
車両取得資金積立資産取得支出	0	3,090,000	△ 3,090,000	
令和4年度計画分設備取得資金支出	2,000,000	2,000,000	0	ユンボ、ダンプ購入資金積立
敷金・保証金等支出	0	13,000	△ 13,000	
保証金取得支出	0	0	0	
預託金支出	0	13,000	△ 13,000	
投資活動支出計	25,000,000	32,806,000	△ 7,806,000	
投資活動収支差額	△ 2,000,000	△ 6,401,000	4,401,000	
【財務活動収支の部】				
<財務活動収入>				
財務活動収入計	0	0	0	
<財務活動支出>				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	△ 2,000,000	△ 6,401,000	4,401,000	

- 前年度予算額は、当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。
- 受取配分金等の増加に連動する費用（支払配分金・支払材料費等）に限り、予算額を超えて執行することができる。
- 短期借入限度額は15,000千円とする。